

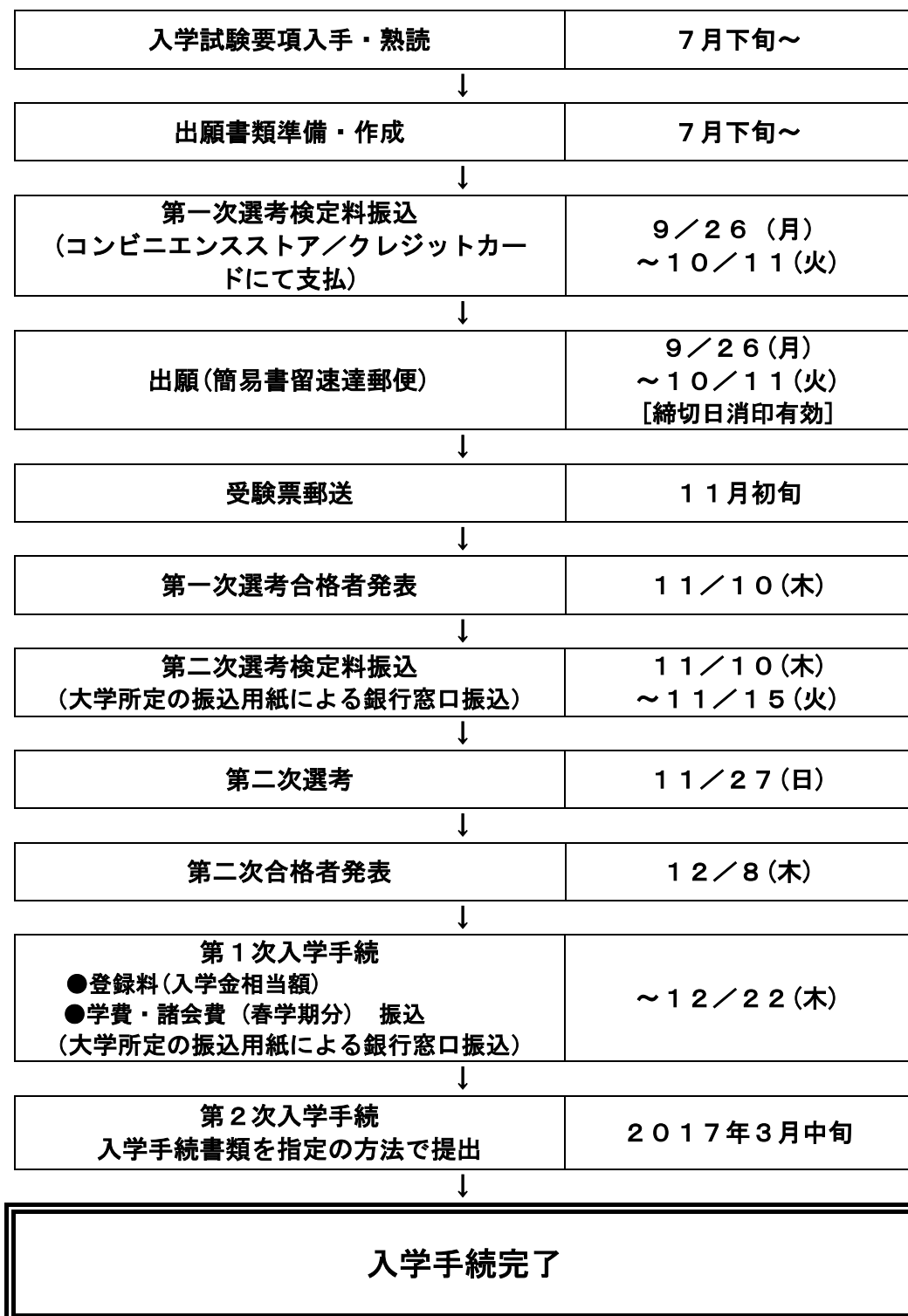
2017 年度（平成 29 年度）

早稲田大学教育学部 自己推薦入学試験要項

目次

●自己推薦入試手続フローチャート	P. 2
1. 日程・試験科目等	P. 3
2. 募集人員	P. 3
3. 出願資格	P. 4
4. 出願手続	P. 7
5. 第一次選考合格者発表および第二次選考検定料の振込	P. 10
6. 第二次選考合格者発表および入学手続書類の交付	P. 10
7. 入学手続	P. 11
8. 「入学試験志願票」記入上の注意	P. 13
9. 「活動記録報告書」記入上の注意および書類を添付する際の注意	P. 18
10. 「志望理由書」記入上の注意	P. 20
11. 早稲田大学入学試験実施に際して	P. 21
●教育学部自己推薦入学試験制度Q & A	P. 23
●2016 年度自己推薦入学試験データ	P. 26

自己推薦入試手続フローチャート



1. 日程・試験科目等

1.1 出願・第一次選考

第一次選考検定料振込 (コンビニエンスストア／クレジットカードにて支払)	出願期間	第一次選考	第一次選考合格者発表
9月26日(月) ～ 10月11日(火)	9月26日(月) ～ 10月11日(火)	書類選考	11月10日(木)

※受験票は、志願票記載の住所へ11月初旬に発送します。受験票を必ず受け取ることできる住所を志願票に記入してください。

1.2 第二次選考

第二次選考検定料振込 (大学所定の振込用紙で金融機関窓口振込)	試験日	試験場	試験科目	第二次選考合格者発表
11月10日(木) ～ 11月15日(火)	11月27日(日)	早稲田大学 16号館	小論文 (90分) (数学科では小論文に代えて数理科学的能力総合試験を行う) 面接 (英語英文学科は面接のなかで英語を使用する場合がある)	12月8日 (木)

※21 ページ以降に記載した「早稲田大学入学試験実施に際して」を必ずお読みください。

※「早稲田大学学費ローン制度」を利用する場合は、別紙『提携金融機関 (オリコ・セディナ) による「早稲田大学学費ローン (入学時)」』をご確認のうえ、第二次選考試験日(11月27日(日))までにお申し込みください。

2. 募集人員

50名程度

3. 出願資格

出願は下記の学部共通出願資格（１）～（４）の全ておよび学科・専攻・専修別出願資格に該当する者に限ります。ただし、（４）については①、②、③のどれか一つに該当していることで足りません。

学部共通出願資格

- (1) 2017 年 3 月高等学校または中等教育学校卒業見込みの者。ただし、文部科学省の認める在外教育施設（日本の高等学校に相当する）を 2016 年 4 月 1 日以後に卒業した者を含む。
- (2) 高等学校または中等教育学校後期課程の 1 年 1 学期または前期から 3 年(4 年制定時制は 4 年) 1 学期または前期までの調査書記載の『全体の評定平均値』が 4.0 以上の者。
- (3) 高等学校または中等教育学校後期課程の 1 年 1 学期または前期から 3 年(4 年制定時制は 4 年) 1 学期または前期までの調査書記載の『欠席日数』が 30 日（4 年制定時制は 40 日）以内の者。
- (4) 高校生活を通じて、教科学習以外にもめざましい活躍をした者。

〔次の①〈学芸系〉、②〈スポーツ系〉、③〈全校的活動系〉のいずれかに該当すること〕

- ① 〈学芸系〉高等学校または中等教育学校後期課程のクラブ活動、またはその他の課外活動を通じ、個人もしくは集団の一員として、学芸系の領域で優れた成績を挙げた者。または、学芸系の領域で完成度の高い研究などを行い、その論文等が学外の第三者機関から高い評価を得た者。
- ② 〈スポーツ系〉高等学校または中等教育学校後期課程のクラブ活動、またはその他の課外活動を通じ、個人もしくは集団の一員として、スポーツ系の領域における都道府県以上の大会等で優れた成績を挙げた者。〈日本代表選手や県代表選手などを含む〉
- ③ 〈全校的活動系〉生徒会の会長または副会長、文化祭・体育祭などの全校生徒が参加する学校行事で実行委員会委員長または副委員長として、それにふさわしい実質的活動をした者。

※ 1 学部共通出願資格（４）の教科学習以外の活動については次の点に留意して出願してください。

- (1) ①、②、③のいずれか 1 つを選択し、その出願資格に該当する活動記録報告書を提出してください。
①は〈学芸系〉、②は〈スポーツ系〉、③は〈全校的活動系〉：【出願後の変更はできません】
- (2) 活動記録報告書に記載の活動については、その記載内容を証明する資料を必ず添付してください。

＊資料の例

- ① 〈学芸系〉、② 〈スポーツ系〉では賞状、新聞記事、主催機関発行資料、研究論文などのコピー
- ③ 〈全校的活動系〉では学校新聞、生徒会誌、同窓会会報、PTA 通信などのコピー（全校生徒が参加する活動であることがわかる証明書を添付すること）

※ 2 欠席日数が 30 日（4 年制定時制は 40 日）を超えている場合でも、スポーツ系に出願する者で、世界大会・全国大会・海外大会への出場による欠席が資料により証明されれば、出願を認める場合があります。欠席を証明できる資料を出願時に同封してください。

※ 3 高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定を含む)合格者、または合格見込みの方は出願資格がありません。

学科・専攻・専修別出願資格		
教育学 学科	教育学専攻 教育学専修	学科・専攻・専修別出願資格は設けない
	教育学専攻 生涯教育学専修	学科・専攻・専修別出願資格は設けない
	教育学専攻 教育心理学専修	①英語は「コミュニケーション英語Ⅰ」・「コミュニケーション英語Ⅱ」・「英語表現Ⅰ」を全て履修していること（独語や仏語は、英語に準じた単位を履修していること） ②数学は「数学Ⅰ」・「数学Ⅱ」・「数学A」を全て履修していること
	初等教育学専攻	①「国語」、「地理歴史または公民」、「数学」、「理科」、「外国語」の各教科の評定平均値が3.5以上の者
国語国文学科		①国語は「国語総合」・「国語表現」・「現代文A」・「現代文B」・「古典A」・「古典B」の6科目の中から「国語総合」を含む2科目以上を履修していること ②国語の評定平均値が4.0以上の者
英語英文学科		①英語は「コミュニケーション英語Ⅰ」・「コミュニケーション英語Ⅱ」・「英語表現Ⅰ」を全て履修していること ②英語の評定平均値が4.5以上の者
社会 科	地理歴史専修	①外国語の評定平均値が4.0以上の者 ②「日本史A」・「日本史B」・「世界史A」・「世界史B」・「地理A」・「地理B」の6科目のうちいずれか1科目の評定平均値が4.0以上の者
	社会科学専修	①英語・数学・国語の3教科のうち2教科以上の評定平均値が4.0以上の者
理 学 科	生物学専修	①理科は【「物理」・「物理基礎」】、【「化学」・「化学基礎」】、【「生物」・「生物基礎」】、【「地学」・「地学基礎」】の中から2つ以上を履修していること ②数学は「数学Ⅰ」・「数学Ⅱ」・「数学Ⅲ」・「数学A」・「数学B」を全て履修していること ③英語は「コミュニケーション英語Ⅰ」・「コミュニケーション英語Ⅱ」・「英語表現Ⅰ」を全て履修していること（独語や仏語は、英語に準じた単位を履修していること）
	地球科学専修	①理科は【「物理」・「物理基礎」】、【「化学」・「化学基礎」】、【「生物」・「生物基礎」】、【「地学」・「地学基礎」】の中から2つ以上を履修していること ②数学は「数学Ⅰ」・「数学Ⅱ」・「数学Ⅲ」・「数学A」・「数学B」を全て履修していること ③地質学、鉱物学に興味のある者
数学科		①数学は「数学Ⅰ」・「数学Ⅱ」・「数学Ⅲ」・「数学A」・「数学B」を全て履修していること ②英語は「コミュニケーション英語Ⅰ」・「コミュニケーション英語Ⅱ」・「英語表現Ⅰ」を全て履修していること（独語や仏語は、英語に準じた単位を履修していること）
複合文化学科		学科・専攻・専修別出願資格は設けない
○上記の評定平均値は各教科とも高等学校または中等教育学校後期課程の1年1学期または前期から3年（4年制定時制は4年）1学期または前期までの評定平均値とする。		

- ※1 出願に際しては、出願資格を熟読してください。志望する学科・専攻・専修については次の点に注意してください。
出願後の志望学科・専攻・専修や出願資格の変更はどのような事情があっても一切認められません。
- ※2 高等学校・中等教育学校が発行する**調査書の科目が上記記載科目名称と異なる場合**には、高等学校・中等教育学校のカリキュラムと文部科学省で定める学習指導要領上の科目（上記記載科目）との対応表（高等学校・中等教育学校が作成し、学校長名・学校長印のあるもの）を作成し、上記資格を満たすことを証明する書類として必ず添付してください。

出願資格における事前問合せについて

次の(i)～(ii)のいずれかの項目に該当する方は、下記要領にて出願資格について必ずお問い合わせください。**※外国の教育機関を修了（見込みの方）した方、正規の留学経験のある方は当該の事前問い合わせを行った上で出願してください。**

(i) 外国の教育機関での課程を修了した方あるいは修了見込みの方（海外の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格などを含む）

(ii) 留学期間のある方で、次の3つの要件をすべて満たしている方

- 日本国内での高等学校在学年数が2年以上にわたること
- 出願時に高等学校で作成する調査書に2学年分（最低でも、1学年分および1期分）の各教科・科目の評定平均・修得単位数が記載されていること。
- 出願時に留学先の高等学校の成績証明書を添付できること。

問い合わせの結果、出願資格を認められた方で海外留学中に教科外活動をしていた場合は、その規模や重要性がわかる資料も出願時に提出してください。

なお、a～cの3要件を全て満たしていない方は、出願資格がありません。

■問合せ期間：2016年8月1日(月)～9月16日(金)

■問合せ方法：文書の郵送による

■問合せ宛先：〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1
早稲田大学教育学部自己推薦入試 出願資格問合せ係

■必要書類：

- 氏名、志望学科・専攻・専修、連絡先住所（郵便番号含む）、電話番号（お持ちの場合はメールアドレスも記載してください）、問合せ内容を明記した文書
- 返信先の住所・氏名を明記し、82円切手を添付した定型最大サイズ（長型3号）返信用封筒
- 必要に応じて以下の書類
 - (i)の場合 調査書または成績証明書、卒業証明書(卒業見込み証明書)等
 - (ii)の場合 調査書、留学先高等学校の成績証明書等

【身体機能の著しい障がいにより、受験・就学に際して特別な配慮を必要とする方へ】

身体機能の障がい等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、下記要領にてお問い合わせください。また、大きな病気やけがのため、受験および就学に支障をきたす恐れがある方は、万一出願後に起った場合でも、速やかにお問い合わせください。

■問合せ期間：2016年8月1日(月)～9月16日(金)

■問合せ方法：文書の郵送による

■問合せ宛先：〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1
早稲田大学教育学部自己推薦入試 配慮申請問合せ係

■必要書類：

- 氏名、志望学科・専攻・専修、連絡先住所（郵便番号含む）、電話番号（お持ちの場合はメールアドレスも記載してください）、問合せ内容を明記した文書
- 返信先の住所・氏名を明記し、82円切手を添付した定型最大サイズ（長型3号）返信用封筒
- 症状と必要な措置のわかる書類（診断書等）

4. 出願手続

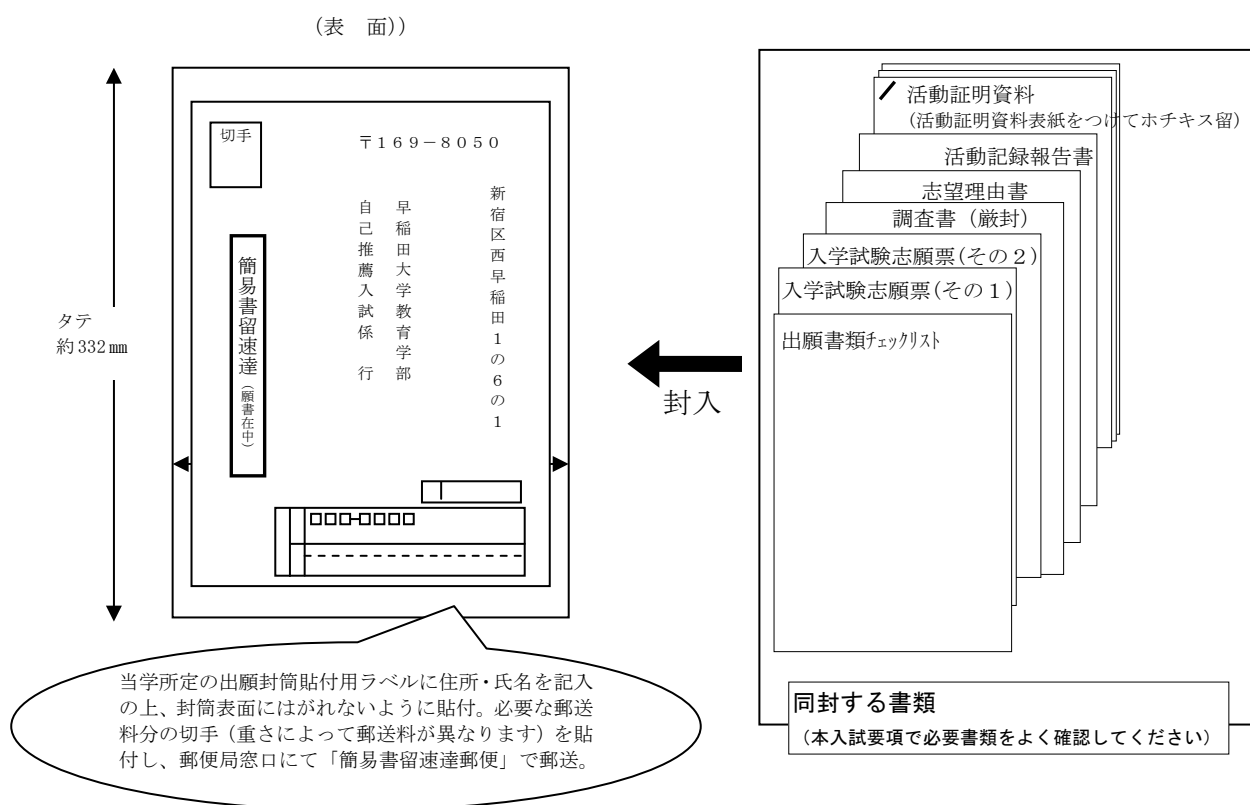
4.1 出願期間

2016 年 9 月 26 日(月)～10 月 11 日(火) 〔締切日消印有効〕

4.2 出願方法

出願は全て郵送によります。持参による提出は一切受け付けません。封筒(サイズは原則として角形 2 号 [タテ約 332 mm×ヨコ約 240 mm])に出願書類を封入し、下図のように封筒の表面には当学所定の出願封筒貼付用ラベル(住所・氏名を記入)を貼付し、必ず「簡易書留速達郵便」で送付してください。

※出願書類受理証明書等は発行いたしません。出願書類が当学に到着しているかどうかは、ご自身で郵便局引受番号等で確認してください。



4.3 出願書類

- ① 出願書類チェックリスト(当学部所定用紙)
- ② 入学試験志願票(その1)(当学部所定用紙)
- ③ 入学試験志願票(その2)(当学部所定用紙)
- ④ 調査書(学校長が作成する調査書、開封されたものは無効)

※2 期制をとっている高等学校または中等教育学校後期課程に通学している方で、**出願時に 3 年前期までの成績を記載した調査書の発行が間に合わない場合**は、高等学校に次の 2 点を証明する書類〔書式自由〕の発行を受け、出願時に他の出願書類と一緒に提出してください。ただし、出願時に 3 年前期までの成績を記載した調査書を提出できる場合には、次の 2 点を証明する書類ではなく調査書を提出してください。

a. 2 期制をとっている高等学校または中等教育学校であること。

b. (3 年前期までの成績が記載された)高等学校または中等教育学校の調査書の発行可能日。

なお、出願時に上記の 2 点を証明する書類を提出した場合、3 年前期までの成績を記載した調査書は入手次第、簡易書留速達郵便にて、**10 月 21 日(金)**までに~~出願書類~~と同じ宛先に郵送してください。その際に、志望学科・専攻・専修および志願者氏名を必ず明記(または、明記したメモ書きを同封)してください。

- ⑤ 志望理由書(当学部所定用紙)
- ⑥ 活動記録報告書(当学部所定用紙)〔指定用紙は必ず 1 枚のみ選択してください〕

*活動記録報告書に記載の活動については、その記載内容を**証明する資料**を必ず添付してください。なお、添付する書類の大きさは、原則として活動記録報告書と同じ大きさ(A4判サイズ)に統一し、**活動証明資料表紙**(当学部所定用紙)をつけてください。

- ⑦ **第一次選考入学検定料の収納証明書**(コンビニエンスストアでの支払／クレジットカード決済で、第一次選考検定料を行った際に得られる証明書)〔**志願票(その2)の所定欄に貼付(クレジットカード決済の場合は志願票(その2)にホチキス留め)**〕
- ⑧ **写真**(最近 3 か月以内に撮影した**カラーの証明写真**)〔**志願票(その2)の所定欄に貼付**〕

- ・縦 4cm×横 3cm の証明写真

- 出願前 3 ヶ月以内に撮影したカラー写真(上半身・正面・無帽・無背景・枠なし)

- ・マフラーやサングラスなどを着用したままで撮影された写真は受け付けません。

- ・スナップ写真等の不鮮明な写真や、髪型の違い等により個人の判別・本人確認が困難な写真は受け付けません。

- ・証明写真ボックスで撮影されたスピード写真は受け付けますが、家庭等で撮影された写真は受け付けません。

- ・裏面に氏名を記入のうえ、所定欄に全面糊付けしてください。

- ・提出された写真は、試験当日の本人確認や、入学後の学生証の写真として使用しますので、本人を判別できるような写真を用意してください。また、学内諸手続における本人確認、および学内の各種 Web サービス等に本人情報として登録しますので、予めご了承ください。

※出願に際し、出願資格や活動記録などの立証責任は、志願者本人にあります。よって、必要書類の不足や証明内容の不備がある場合は、志願者にとって不利に扱われますので十分に注意してください。なお、一度提出した書類はどのような事情があっても返還できません。また、提出した書類の記載内容の変更にも応じられません。

※上記書類を送付する前に「出願書類チェックリスト」に基づき不備・不足がないことを確認してください。また、「出願書類チェックリスト」は、上記書類と共に送付してください。

※出願の際に当学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等および入学検定料は返還しません。

4.4 第一次選考入学検定料

第一次選考入学検定料(10,000 円)は以下のいずれかの方法でお支払いください。

①コンビニエンスストアでの支払い

第一次選考検定料振込期間(2016 年 9 月 26 日～10 月 11 日)内に、ホームページ

(<https://e-shiharai.net/>) で申し込み、支払いに必要な番号を取得し、番号を持参の上、最寄りのコンビニエンスストア(セブンイレブン、サークルK・サンクス、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート)でお支払いください。支払方法の詳細については、別紙「第一次選考入学検定料支払い方法(コンビニエンスストア)」を参照してください。

- a. 上記のコンビニエンスストアで、振込期間中であれば土日・祝日を問わず、入学検定料を支払うことができます。ただし振込期間最終日の Web サイトでの申込みは 23:00 まで、コンビニエンスストア店頭での支払手続は 23:30 までとなりますのでご注意ください。
- b. 所定のコンビニエンスストアが無い等の理由で、コンビニエンスストアでの支払いが困難な場合は、お早めに当学部までご連絡ください。
- c. コンビニエンスストアでの支払いに際しては、家族・知人が代理で手続する場合でも、**必ず志願者本人の情報(氏名・住所・電話番号等)を入力するようにしてください。**
- d. **支払い終了後、『入学検定料・選考料取扱明細書』の『収納証明書』を志願票(その2)の『収納証明書貼付欄』に貼付してください。**
- e. 払い込みには所定の手数料がかかります。

②クレジットカードによる支払い

第一次選考検定料振込期間(2016 年 9 月 26 日～10 月 11 日)内に、ホームページ

(<https://e-shiharai.net/card/>) にアクセスをして所定申込手続を完了させてください。支払い方法の詳細については、別紙「第一次選考入学検定料支払い方法(クレジットカード)」を参照してください。

- a. 振込期間中であれば土日・祝日を問わず、入学検定料を支払うことができます。ただし振込期間最終日は日本時間の 23:00 までにカード決済を完了させてください。
- b. クレジットカードでの支払いに際して使用するカードは、志願者本人以外の名義でも構いません。ただし、家族・知人が代理で手続をする場合でも、「基本情報」には**必ず志願者本人の情報を入力してください。**
- c. **支払い終了後、決済完了が表示された Web ページを印刷し、志願票(その2)にホチキス留めをして他の書類とともに提出してください。**
- d. 払い込みには所定の手数料がかかります。

※期間経過後の検定料の振込は一切認められません。

※一度受理した書類および入学検定料は、原則として返還いたしません。ただし、以下のケースに該当する場合は、入学検定料に限り全額または超過分を返還いたします。該当する方は当学部までご連絡ください。

※クレジットカードにより入学検定料を納入された場合、返還に伴い発生する手数料等は志願者の負担となります。

- 1) 入学検定料を所定額より多く支払った。
- 2) 入学検定料を支払ったが、出願書類は提出しなかった。
- 3) 入学検定料を支払ったが、出願締切後に出願書類を提出した。
- 4) 入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が受理されなかった。

5. 第一次選考合格者発表および第二次選考検定料の振込

5.1 第一次選考合格者発表

2016 年 11 月 10 日(木)の正午頃に「第一次選考合格者受験番号表」を第一次選考の受験者全員に速達郵便で発送します。

なお、第一次選考合格者には第二次選考の入学検定料等振込依頼書および第二次選考の場所・時間等詳細について同時に通知します。

※正式な第一次選考合格者発表は、上記によるものとしますが、受験生の便宜を考慮し、補助的な手段として、「ホームページによる合格者発表」も行います。第一次選考合格者発表日（午前 10:00）から 1 週間、当学入学センターウェブサイト (<https://www.wnp8.waseda.jp/goukaku/>) に、第一次選考合格者の受験番号を掲載します。

5.2 第二次選考検定料の振込

第二次選考入学検定料(25,000 円)は、第一次選考合格者宛に合格者発表時に郵送する第二次選考の入学検定料等振込依頼書を利用して、第二次選考検定料振込期間内に、ゆうちょ銀行を除く銀行窓口からお振り込みください。

- a. 第二次選考の入学検定料等振込依頼書は第一次選考合格者宛に合格者発表時に郵送しますので、必ず **11 月 15 日(火)**までに第二次選考検定料を振込んでください。**期間内に第二次選考検定料の振込がない場合、第二次選考の受験資格を失います。**
- b. 振込みには所定の振込手数料がかかります。
- c. ATM、インターネットバンキング、携帯電話、パソコン等による振込および海外からの送金は認めません。

※検定料の期間経過後の振込は一切認めません。

※第二次選考検定料は原則として、返還いたしません。

6. 第二次選考合格者発表および入学手続書類の交付

2016 年 12 月 8 日(木)正午頃に「第二次選考合格者受験番号表」を第二次選考の受験者全員に速達郵便で発送します。

なお、第二次選考合格者には「第二次選考合格者受験番号表」とともに「第 1 次入学手続書類」を発送します。

※正式な第二次選考合格者発表は、上記によるものとしますが、受験生の便宜を考慮し、補助的な手段として、「ホームページによる合格者発表」も行います。第二次選考合格者発表日の午前 10:00 から 1 週間、当学入学センターウェブサイト (<https://www.wnp8.waseda.jp/goukaku/>) に、第二次選考合格者の受験番号を掲載します。

電話による可否の問い合わせには一切応じません。

当学部では可否電報・模範解答の取扱いはありません。例年、大学関係者を装った私設業者が出ていますが、その業者との間のトラブルについては当学は一切責任を負いません。

7. 入学手続

- 入学手続は、「第1次入学手続」「第2次入学手続」に分けて行います。
- 「第1次入学手続」は、最寄りの銀行窓口からの登録料(入学金相当額)と学費・諸会費(春学期分)の一括振込みで完了します。
- 「第2次入学手続」は、入学手続書類を指定の方法で提出することにより完了します。
- 「第2次入学手続」は、「第1次入学手続」を完了した方に限り行うことができます。
- 入学手続は必ず所定期間内に行ってください。**期間経過後の振込み手続は、どのような事情があっても一切認めません**ので、十分注意してください。
- 一度提出した書類および納入した登録料(入学金相当額)、学費・諸会費(春学期分)は、原則として返還しません。ただし、やむを得ない事情により、入学を辞退する場合には、学費・諸会費(春学期分)のみ返還の対象となります。手続方法等、詳細については、合格者に送付される「入学手続の手引き」を参照してください。

7.1 第1次入学手続

- 手続期間：2016年12月22日(木)まで
- 手続方法：第二次選考合格者発表の際に、合格者には第1次入学手続関係書類(学費等振込用紙)を送付しますので、所定事項を記入のうえ、ゆうちょ銀行を除く最寄りの銀行窓口からお振込みください。

※領収証は大切に保管してください。

※一度納入した登録料(入学金相当額)は、どのような事情があっても返還できません。

2017(平成29)年度 学費・諸会費【予定】

※入学手続に必要な学費・諸会費は、下表の「入学時(春学期) 合計」欄に示す金額です。

単位(円)

学科・専攻・専修	生涯教育学専修	教育心理学専修	初等教育学専攻	英語英文学科	複合文化学科	文系その他 [注1]	生物学専修 地球科学専修	数学科
入学金	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
学費								
授業料	480,000	480,000	480,000	485,500	480,000	480,000	723,000	723,000
実験実習料	11,620	16,620	21,620	13,380	10,000	1,620	45,000	5,000
学生読書室図書費	250	250	250	250	250	250	250	250
諸会費								
学生会費	250	250	250	250	250	250	250	250
学生健康増進互助会費	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
入学時(春学期) 合計	693,620	698,620	703,620	700,880	692,000	683,620	970,000	930,000
学費								
授業料	480,000	480,000	480,000	485,500	480,000	480,000	723,000	723,000
実験実習料	0	15,000	20,000	0	0	0	45,000	5,000
学生読書室図書費	250	250	250	250	250	250	250	250
諸会費								
学生会費	250	250	250	250	250	250	250	250
学生健康増進互助会費	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
秋学期 合計	482,000	497,000	502,000	487,500	482,000	482,000	770,000	730,000
初年度 合計	1,175,620	1,195,620	1,205,620	1,188,380	1,174,000	1,165,620	1,740,000	1,660,000

〔注〕

- 「文系その他」は、教育学専修、国語国文学科、地理歴史専修、社会科学専修です。
- 教育学専修、生涯教育学専修、国語国文学科、地理歴史専修、社会科学専修、複合文化学科の実験実習料は第2年度以降は必要ありません。
- 以下の学科・専攻・専修は次のとおり実験実習料が必要です。
 - 【教育心理学専修】 第2年度以降 春学期15,000円 秋学期15,000円
 - 【初等教育学専攻】 第2年度以降 春学期20,000円 秋学期20,000円
 - 【英語英文学科】 第2年度 春学期10,000円、第3年度 春学期3,710円
 - 【生物学専修、地球科学専修】 第2年度以降 春学期45,000円 秋学期45,000円
 - 【数学科】 第2年度 春学期5,000円 秋学期5,000円、第3年度以降 春学期10,000円 秋学期10,000円
- 実験実習料・学生読書室図書費・諸会費は改定されることがあります。

〔摘要〕

- 本学では、学費・諸会費の納入は口座振替となります。秋学期の振替は10月1日、第2年度以降、春学期の振替は5月1日を予定しています。振替予定日が金融機関休業日の場合、振替日は翌営業日となります。振替日および振替金額は、振替前に学費等振替通知書にて学費支払者宛てに通知します。
- 入学後、特定の科目を選択する場合は、別途実験実習料が必要となることがあります。
 - 例：【保健体育科目】 実験実習料 1,500円～40,000円 <スポーツ実習科目を履修する場合>
 - 【教職課程科目】 聴講料 1単位につき1,000円 <教員免許状を取得しようとする場合>
 - 【図書館司書課程科目】 聴講料 7,000円 <図書館司書(学校図書館司書教諭を含む)の資格を取得しようとする場合>
- 第4年度秋学期に校友会費40,000円(卒業後10年分)が必要となります。

7.2 第2次入学手続

手続期間：2017年3月中旬（締切日消印有効）

手続方法：所定の期間内に指定の方法により提出することで完了します。

（手続期間・手続方法の詳細については、3月初旬に郵送する第2次入学手続関係書類で通知）

7.3 複数の学部から入学を許可された場合の手続

ひとつの学部合格の方が、その学部に登録料（入学金相当額）や学費・諸会費（春学期分）を納入した後、さらに他の学部へ入学を許可され、かつその学部へ入学を希望する場合は、本人からの申し出により、既に納入した登録料・学費・諸会費（春学期分）を入学希望学部の費用に振り替えることができます。手続方法等の詳細については、合格者に送付する「入学手続の手引き」をご参照ください。

8. 「入学試験志願票」記入上の注意

- (1) 必ず2017年度の様式を使用してください。
- (2) 入学試験志願票提出後の志望学科・専攻・専修の変更はどのような事情があっても認めないので、記入にあたっては下記の事項をよく読んで正確に記入してください。
- (3) ペンまたはボールペン(黒)で記入してください。
- (4) 誤って記入した場合は、二本線で消し、訂正印を押印したうえで再度記入(できるだけ枠内)すること。修正液は使用しないでください。
- (5) ※印空欄箇所は記入しないでください。
- (6) 志願者本人自筆の手書きで記入してください。
- (7) 入学試験志願票は、以下の要領にて記入してください。

8.1 カナ氏名(㊤)・漢字氏名(㊦)

カナ氏名・漢字氏名は姓と名それぞれ左端から記入してください。

〔記入例〕～早稲田 梓(ワセダ アズサ)さんの場合～

氏 名	姓	名
㊤ カナ氏名	ワセダ	アズサ
㊦ 漢字氏名	早稲田	梓

*氏名は、戸籍に記載の氏名を記入してください。

※戸籍に記載の氏名を記入してください。戸籍の氏名は旧字体であっても、通常略字体である常用漢字を使用している場合には、戸籍と異なっても構いません(高等学校等の調査書が戸籍と異なる場合は、本人であることを証明する書類を添えてください)。

※拗音(「ャ」「ュ」「ョ」)促音(「ッ」)はそのまま記入してください。

※まぎらわしい文字は、特に注意してください。(例)「ア」と「マ」、「ク」と「ケ」と「ワ」、「シ」と「ツ」、「ユ」と「エ」と「コ」など。

※外国人で漢字氏名のない場合、漢字氏名(㊦)欄は空欄のまま構いません。ただし、姓または名の一部が漢字の場合、漢字とカタカナで記入してください。

〔記入例〕～早稲田 エリザベス(ワセダ エリザベス)さんの場合～

氏 名	姓	名
㊤ カナ氏名	ワセダ	エリザベス
㊦ 漢字氏名	早稲田	エリザベス

*氏名は、戸籍に記載の氏名を記入してください。

※入学試験志願票(その2)「2017年度教育学部自己推薦入試写真票」下の「㊤カナ氏名」、「㊦漢字氏名」は、右の記入例に従って姓・名の順で記入してください。

〔記入例〕～早稲田 梓(ワセダ アズサ)さんの場合～

受験番号	※
㊤ カナ氏名	ワセダ アズサ
㊦ 漢字氏名	早稲田 梓

8.2 性別(㊧)

「1. 男」または「2. 女」のうち、該当するほうに○印を付けてください。

〔記入例〕～女性の場合～

㊧ 性別 (1, 2 のいずれかに○印)	1. 男	2. 女
		○

8.3 生年月日(㊟)

生年月日の年は西暦で記入してください。年月日が1ケタの場合は、十の位に0をつけて記入してください。

〔記入例〕～1998年12月5日生まれの場合～

㊟生年月日(西暦)	1	9	9	8	年	1	2	月	0	5	日生
-----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

8.4 出願資格(㊟)

学部共通出願資格(4)の①～③のうち、どの資格によって出願するか、該当するものに○印を付けてください。

※願書提出後の出願資格区分の変更はどのような事情があっても一切認められないので、誤りのないように記入してください。

〔記入例〕～出願資格「② スポーツ系」で出願する場合～

㊟出願資格 (①、②、③のいずれかに○印)	① 学芸系	② スポーツ系	③ 全校的活動系
--------------------------	-------	----------------	----------

8.5 志望学科・専攻・専修(㊟)

志望学科・専攻・専修のコードに○印を付けてください。

※願書提出後の志望学科・専攻・専修の変更はどのような事情があっても一切認められないので、誤りのないように記入してください。

〔記入例〕～志望学科・専攻・専修「21」(国語国文学科)で出願する場合～

学 科	教育学科					国語国文学科	英語英文学科	社会科	理学科	数学科	複合文化学科	
専攻・専修	教育学専修	教育学専攻	生涯教育学専修	教育学専攻	教育心理学専修	初等教育学専攻		地理歴史専修	社会科学専修	生物学専修	地球科学専修	
コード	11	12	13	14	21	31	41	42	52	53	61	71

8.6 住所等(㊟～㊿)

㊟郵便番号：7桁の番号を正確に記入してください。

㊠住所：志願票と調査書に記載されている住所が異なる場合は志願票記載の住所を登録します。

㊡住所：漢字で記入し、フリガナをつけてください。都道府県名も必ず記入してください。

※「丁目」「番地」「号」は省略し、ハイフンで記入してください。

※下宿等の場合は、〇〇様方まで記入してください。

※マンション名・アパート名等は、郵送上支障がない場合は省略し、地番に続けて室番号をハイフンでつないで記入してください(志願票記入例参照)。

㊢電話番号：市外局番からハイフンを含めずに、左詰めで記入してください。

㊣携帯電話番号：携帯電話をお持ちの場合は、左詰めで記入してください。

※この住所宛に、受験票や合格者発表時の合格者受験番号表・入学手続関係書類を送付しますので、郵便物等を必ず受け取ることのできる宛先を記入し、誤記入や不備のないように十分注意してください。

〔記入例〕～誤記入や記入漏れのないように正確に記入してください～

㊟郵便番号	1	6	9	—	8	0	5	0			
㊠住所	フリガナ トウキョウトシンジュククニシワセダ ハギワラサマカタ										
	東京都新宿区西早稲田 1—6—1—1602 萩原様方										
㊢電話番号 (市外局番からハイフンなしで記入)	0	3	3	2	0	8	8	4	2	3	
㊣携帯電話番号 (ハイフンなしで記入)	0	9	0	9	9	9	9	0	0	0	0

★郵便番号・住所は受験票・合格者発表時の書類の送付先住所となりますので正確に記入してください。

8.7 在学（出身）校(㊦～㊩)

㊦学校名：在学（出身）校名を記入してください。

㊧設置：在学（出身）校の設置形態について、該当するものに○印をつけてください。

※通信教育修了（見込）者は「4」に○印をつけてください。

㊨課程：在学（出身）校の課程について、該当するものに○印をつけてください。

※「4 その他」および「8 その他」とは、理学科・英語科・芸術科・農業科・総合学科などが該当します。

※在外教育施設修了（見込）者は「0」に○印をつけてください。

㊩学校コード：「高等学校等コード番号表」を参照のうえ、在学（出身）校の6桁の学校コードを記入してください。

〔記入例〕～東京都、私立、全日制、普通科、早稲田高等学校の場合～

在学 (出身) 高校	㊦学校名	早稲田高等学校 卒業見込									
	㊧設置 (1～5 のいずれか該当するものに○印)	1 国立		2 公立 (都道府県・市町村立)		3 私立		4 通信教育		5 その他	
	㊨課程 (1～8 のいずれか該当するものに○印)	全 日 制				定 時 制				0 通 信 その他	
	1 普通科	2 商業科	3 工業科	4 その他	5 普通科	6 商業科	7 工業科	8 その他			
㊩学校コード (6桁のコードで記入)	1	3	5	4	6	B					

※誤って記入した場合は、二本線で消し、訂正印を押印したうえで、可能な限り枠内に再度記入してください。修正液は使用しないでください。

9.「活動記録報告書」記入上の注意および書類を添付する際の注意

全ての系統に共通

注 意：この試験は自己推薦入学試験です。出願に際し、出願資格や活動記録などの立証責任は、志願者本人にあります。よって、必要書類の不足や証明内容の不備がある場合は、志願者にとって不利に扱われますので十分注意してください。

- ① ※印空欄箇所は記入しないでください。
- ② 活動を証明する書類は、見やすいように整理して添付してください。活動記録報告書資料番号欄に対応する資料番号を活動証明資料にも分かりやすく記入してください。
- ③ 活動証明資料では次の事項の証明が必要です。これに関する部分が分かるようにマーカーをつける等の工夫をしてください。
 - その活動にあなたが参加したこと
 - 活動の規模・性格(賞や大会や行事等の規模・位置づけ)
 - 活動の内容や結果(順位・賞・評価等)
- ④ DVD やビデオテープなどのデジタル資料は不要です。
- ⑤ 添付する書類の大きさは、原則として活動記録報告書と同じ大きさ（A 4 判）に統一してください。また、小さな書類を何枚も台紙に貼り付けて作成する場合はその台紙の大きさも A 4 判に統一してください。
- ⑥ 活動を証明する書類は、活動証明資料表紙(当学部所定用紙)をつけ、ホチキス留めにしてまとめてください。
- ⑦ 活動記録報告書下欄には、学校長名・学校長印が必要です。
- ⑧ 活動記録報告書は当学部所定用紙 **1 枚のみ**お使いください。
- ⑨ 志願者本人自筆の手書きで記入してください。

学芸系⇒用紙①に記入してください。

- ① 活動記録報告書の出場記録・研究記録欄には、もっともアピールしたい大会、コンクールの賞の情報を記入してください。
- ② 出場記録・研究記録欄の「規模」と「団体・個人」の別は該当するものを○で囲んでください。
- ③ 学術系の大会で表彰された賞の名称を記入してください。出願までに上位の大会の結果が出ておらず、かつ 10 月末までに結果が大会等公式の Web ページ等で公式に発表される場合に限り、もっともアピールしたい大会、コンクールの賞として予選に相当する地方大会の結果を記入し、特記事項にその上位の大会の名称、大会の結果が発表される Web ページの URL(公式に限る)、大会の参加者数・その大会で授与される賞の種類・各賞の取得者数などを記入することができます。
- ④ 順位の欄には、優勝／2 位／ベスト 8／出場などと、記入してください。賞の欄には、金賞／内閣総理大臣賞などと記入してください（ここでは、評価によって授与された賞を記入し、出場するだけで一律に与えられるような賞は記入しないでください）。また、「出場」のみの場合はそれに至るまでの大会の評価等を特記事項に記載し、あわせてその活動証明資料も必ず添付してください。
- ⑤ **賞状の名称から全体の中での順位が把握できないものは、その賞が全体の中でどの程度の位置を占めるかが分かる資料（大会の参加者数・その大会で授与される賞の種類・各賞の取得者数・志願者本人が獲得した賞）を必ず添付してください。特に順位の記載ができない場合は、その賞の取得者数を賞の欄に並記してください（順位欄ではありません）。**

- ⑥ 団体で行う学芸系の分野の場合は、個人としてどのようなポジション（キャプテン・部長・コーラスリーダー等）でどういう活躍をしたかが客観的にわかるような資料を必ず添付してください（出場した大会のメンバー表、記録票（レコードシート）、大会の新聞記事、雑誌のコピー等）。
- ⑦ 活動の成果物自体を見るものではありません。例えば、文芸活動における作文や出版物などの添付は不要です。それらがどのような評価を得たのかを証明してください。
- ⑧ 特記事項の欄には、③以外にも、順位や賞には直結しないが強調しておきたいこと（例：日本代表に選抜された等）を記入することができます。この場合、最もアピールしたいものを先頭にして順に記入し、あわせてその内容を証明する資料を必ず添付してください。
- ⑨ 大会、コンクールの主催者が発行した大会要項、大会案内等のコピーを添付してください。
- ⑩ 学芸の範囲は、対象となる分野が広範に渡るため、主な分野を下表に例示しますので、活動記録報告書の「分野」欄に転記してください。記載のない分野の場合は「分野」欄に〔その他（●●●）※●●●は分野名〕と記入してください。

学芸分野（50音順に例示）

囲碁・将棋／演劇／音楽／外国語／科学／作文／写真／書道／新聞／数学／美術・工芸／文芸
／弁論／放送／論文

スポーツ系⇒用紙②に記入してください。

- ① 活動記録報告書の出場記録欄には、もっともアピールしたいものを記入してください。
- ② 競技会の概要が掲載された大会要項・大会案内等のコピーを添付してください。
- ③ 出場記録欄の「規模」と「団体・個人」の別は該当するものを○で囲んでください。
※ペアで行うものは「個人」としてください。
- ④ 団体で行う競技の場合は、個人としてどのような活躍をしたのかが客観的に分かるような資料を必ず添付してください（出場した大会のメンバー表、記録表（例：野球の打撃成績、バスケットボールではタイムテーブル等のレコードシート）、大会の新聞記事、雑誌のコピー等、個人スポーツの（団体）対抗戦では、志願者個人の勝敗等の成績を添付してください）。
- ⑤ スポーツ競技の範囲は、オリンピック・パラリンピック・アジア大会・国民体育大会・高校体育連盟（準加盟も含む）の競技を主な対象としています。主な競技を下表に例示しますので、活動記録報告書の「競技名」欄に転記してください。

記載のない競技の場合は、「競技名」欄に〔その他（●●●）※●●●は競技名〕と記入してください。

スポーツ競技（50音順に例示）

アーチェリー／アイスホッケー／アメリカンフットボール／カヌー／空手／弓道／競泳／剣道／硬式野球
／サッカー／自転車／柔道／重量挙げ／新体操／水球／スキー／スケート／相撲／ソフトテニス
／ソフトボール／体操／卓球／ダンス／チアリーディング／テニス／飛び込み／なぎなた／軟式野球
／馬術／バスケットボール／バトントワリング／バドミントン／バレーボール／ハンドボール
／フェンシング／ボート／ボクシング／ホッケー／ヨット／ライフル／ラグビー／陸上競技／レスリング

- ⑥ 順位の欄には、優勝／2位／ベスト8／出場 などと、記入してください。賞の欄には、金賞／優秀選手賞 などと記入してください。特に賞のみ記入の場合は、その賞の取得者数を明記してください。また、その賞の大会における位置づけを説明する資料の添付が望まれます。
- ⑦ 特記事項の欄には、順位や賞には直結しないが強調しておきたいこと（例：日本代表、日本代表候補、優秀選手に選抜された等）を記入することができます。この場合、最もアピールしたいものを先頭にして順に記入し、あわせてその内容を証明する資料を必ず添付してください。
- ⑧ 特記事項については、主催団体等による認定書等のほか、優秀選手等が他にもいる場合は活動証明資料としてその全員の一覧表のコピーをつけてください。

全校的活動系⇒用紙③に記入してください。

- ① 「委員会名」・「役職名」・「活動期間」欄には、それぞれ委員会名、役職名、活動期間を記入し（3件まで）、その具体的な内容は下欄の「具体的な活動内容」欄内にまとめて記入してください。詳細については、活動証明資料を利用して説明してください。

- ② 「具体的な活動内容」欄に記載する内容が、どの「資料番号」に対応するかを必ず明記してください。
- ③ 活動記録報告書以外に、**所属していた生徒会・委員会等の組織図【書式自由】**を作成し、学校長印を押印の上提出（活動証明資料表紙と活動証明資料の間に入れてホチキス留め）してください。

10. 「志望理由書」記入上の注意

- ① 当学所定用紙「志望理由書」に 800 字以内にまとめてください。
- ② 志願者本人自筆の手書きで記入してください。
- ③ ※印空欄箇所は記入しないでください。

個人情報の取り扱いについて

当学では、志願時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を、入学試験実施、合格者発表、入学手続およびこれらに付随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流失・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。

また、上記業務の全部又は一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し、契約等により、必要かつ適切な管理を義務付けます。

11.早稲田大学入学試験実施に際して

【受験生の皆さんへお願い】

- ①万全の体調で試験に臨めるよう、普段から手洗いやうがいを慣行し、ご自身の健康には十分留意してください。
- ②入学試験会場でのインフルエンザ等感染症への感染を防ぐため、必要に応じて各自でマスクを用意してください。
- ③咳・くしゃみが出る方はマスクを着用する、咳エチケットを守るなど、周囲の方への感染防止にご配慮ください。

この「入学試験要項」では、携帯電話・スマートフォン・タブレット・PHS・スマートウォッチ等の通信機能を持った機器をすべて含めて「携帯電話等」と表記しています。

早稲田大学では、入学試験の実施に際し、以下のような対応をとることがあります。
あらかじめご了承ください。

◆受験環境について

可能な限り公平・静粛な受験環境の確保に努めますが、やむを得ず以下のような対応をとることがあります。

- ① 生活騒音（航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話等の鳴動など）が発生した場合でも、原則として特別な措置は行いません。
- ② 試験中に携帯電話や時計等の音・振動などが発生し、発生源のかばんなどが特定できた場合、持ち主の同意なく監督員が試験場外に持ち出し、試験本部で保管すること、あるいはかばんの中から携帯電話・時計等を取り出し鳴動停止の操作をすることがあります。
- ③ 机、椅子、空調、音響設備等の試験教室による違いは一切考慮しません。
- ④ 隣席の受験者の手洗いや、体調不良による入退室のため、試験監督員の指示により席を立っていただくことがあります。
- ⑤ 他の受験者が迷惑と感じる行為がある場合、別室受験を求めることがあります。

◆不可抗力による事故等について

台風、地震、洪水、津波等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等や交通機関の乱れが発生した場合、試験開始時刻の繰下げ、試験の延期等の対応措置をとることがあります。ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

早稲田大学では、入学試験を厳正に実施し、全ての受験者が公平・公正に受験できるよう、以下の注意事項を定めています。

当学入学試験の受験に際しては、この注意事項を熟読のうえ、真剣な態度で試験に臨んでください。

1. 出願の際に当学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為となる場合があります。

2. 次のことをすると不正行為となる場合があります。

- ①カンニングをすること（試験時間中にカンニングペーパー・参考書等を隠し持つ・使用する、他の受験者の答案等を見る、他の人から答えを教わるなど）。
- ②試験時間中に、答えを教えるなど他の受験者を利するような行為をすること。
- ③試験時間中に携帯電話等を身に付けること、使用すること。
- ④試験時間中に携帯電話等や時計の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすこと。
- ⑤試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑥試験場において試験監督員等の指示に従わないこと。
- ⑦志願者以外のものが志願者本人になりすまして試験を受けること。
- ⑧その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

3. 不正行為の疑いがある場合、次のような対応をとることがあります。

- ・試験監督員等が注意をする、または事情を聴くこと。
- ・別室での受験を求めること。

4. 不正行為と認められた場合、次のような対応をとることがあります。

- ・当該年度における当学の全ての入学試験の受験を認めないこと（入学検定料は返還しない）。
- ・当該年度における当学の全ての入学試験の結果を無効とすること。

以 上

教育学部自己推薦入学試験制度 Q&A

I.学部共通出願資格に関して

Q1 一つの高校から何名でも出願できますか？

A 人数に制限はありません。

Q2 出願資格 (4) の①、②、③のうち、二つ以上に該当している場合にはどうすればよいのですか？

A 最もアピールしたい出願資格を一つ選んでください。

Q3 高等学校のクラブ活動に所属していない人にも出願資格はありますか？

A あります。

Q4 中学時代の活動は認められますか？

A 認められません。

Q5 自己啓発のため複数の資格を取得しましたが出願できますか？

A 各種免許・検定・資格取得、あるいはボランティア類は、それ自体では出願資格に該当しません。

Q6 出願資格 (4) の①、②でいう、「優れた成績」とは具体的にどのようなものですか？

A ①の学芸系は、たとえば学術学会の学生部門での表彰、全国大会などで表彰された場合などが考えられます。

②のスポーツ系は、都道府県以上の大会の上位入賞者以上ですが、これ以外に、特記事項に該当項目がある人。

Q7 出願資格 (4) の①でいう『学芸系』とはどのようなものですか？

A 高校生にふさわしく、かつ、弁論・文芸・芸術・学術の分野に入ると広く認められているものがこれに当たります。
囲碁・将棋も含まれます。

Q8 予選がなく、出願段階では結果が出ておらず、10月末までに結果が公表される大会に応募する場合は、活動記録報告書に何を書けばいいですか？

A この場合、活動記録報告書には、すでに結果が出ているものしか記入できません。

Q9 10月末までに結果が発表されない大会の場合でも記入すれば考慮されますか？

A 残念ながら考慮されません。

Q10 大会の公式 Web ページ等がなく、大会の結果がインターネット上で公開されません。賞状等をあとから郵送してもよいですか、もしくは学校の Web ページに掲載してもよいですか？

A 10月末までに公式 Web ページに結果が掲載される大会・コンクールに限ります。

Q11 アマチュアが参加できないプロの大会での賞は、活動実績として認められますか？

A 認められません。

Q12 バレエ・マーチングバンド等は『スポーツ系』と『学芸系』のどちらに含まれますか？

A 『学芸系』になります。なお、チアリーディング等は大学では運動部に属していますので、『スポーツ系』とします。

Q13 スポーツ系のクラブなどのマネージャーにも出願資格はありますか？

A ありません。

Q14 団体スポーツで、チームとしての成績は優れていなくても個人として秀でている場合は？

A 都道府県以上の大会で優れた成績を挙げた場合は出願資格があります。

Q15 団体スポーツはチームの誰でも出願資格はありますか？

A 主要な大会に正式に出場登録したメンバーに限ります。

Q16 「全校的活動系」とは具体的にどのような活動を指しているのですか？

A 生徒会、学園祭実行委員会のような全校生徒が参加する活動が対象です。活動範囲が全校的であっても、参加する者が部員などに限定されている放送部や広報部などでの活動内容は、全校的活動系への出願資格に該当しません。

Q17 生徒会会長または副会長、体育祭・文化祭等全員参加の学校行事で実行委員長または副委員長としてふさわしい実質的活動をしたことの証明が難しいが？

A 「活動記録報告書」の“具体的活動内容”欄に自己の活動を詳しく記述するとともに、その活動を伝える記事・記録のコピー等を資料として添付してください。特に生徒会副会長、体育祭・文化祭等全員参加の学校行事の副委員長の活動実績は、活動に対する自身の貢献が具体的に分かる資料となるよう注意して作成して下さい。

Ⅱ.学科・専攻・専修別出願資格に関して

- Q18 理科として「物理」・「物理基礎」と「化学基礎」を履修した場合、生物学専修や地球科学専修への出願資格はありますか。
- A ありません。例えば、生物学専修では、理科は【「物理」・「物理基礎」】、【「化学」・「化学基礎」】、【「生物」・「生物基礎」】、【「地学」・「地学基礎」】の中から2つ以上を履修していることが出願資格になっています。(学科・専攻・専修別出願資格参照)
- Q19 例えば、生物学専修を志望する者が、「生物」を履修せず他の理科を2科目履修(例えば、「物理」・「物理基礎」と「化学」・「化学基礎」を履修)している場合には、出願資格がありますか？
- A あります。
- Q20 地球科学専修では、「地質学、鉱物学に興味のある者」とありますが、天文学、気象学に興味のある者は出願資格がないのですか？
- A そのようなことはありません。地球科学専修では地質学、鉱物学の分野が主体ですが、惑星科学を研究している教員も在籍しており、惑星科学に関する科目も設置しています。

Ⅲ.選考に関して

- Q21 志望する学科・専攻・専修によって、重視される活動の分野があるのですか？
- A ありません。たとえば、英語英文学科に出願したとして、英語弁論大会の成績も、スポーツ大会の成績も同等に評価されます。
- Q22 第一次選考における評価基準はどのようになっていますか？
- A 出願資格(2)～(4)の各項目の配点・採点基準については公表できませんが、一定の評価基準を設け、それに基づいて判定します。
- Q23 第二次選考の小論文については、どのような内容、分量が課されますか？
- A 高校三年生の学習レベルを著しく超える内容や分量を求めることはありません。
- Q24 数学科の「数理科学的能力総合試験」とはどのようなものですか？
- A 受験者の数理科学的思考のレベルを問う試験です。高校三年生の学習レベルを著しく超える内容や分量を求めることはありません。過去問題もご参照下さい(教育学部事務所、または入学センターホームページ「過去の入試問題(学部)」：<http://www.waseda.jp/inst/admission/undergraduate/past-test/> で公開)。
- Q25 小論文の字数制限はありますか？
- A 今年度の選考に関わることはお答えできませんが、前年度以前の実績で言えば、年度によっては字数制限を設けていた学科・専攻・専修もありました。なお、字数制限を設けていない場合でも、解答用紙の記入許可範囲内に収める必要はあります。
- Q26 第二次選考では第一次選考の結果を考慮するのですか？
- A 第一次・第二次選考の結果を総合的に判断して、最終合格者を決定します。

Ⅳ.教育学部自己推薦入学試験制度に関して

- Q27 合格者が入学を取りやめた場合、翌年以降その出身高校の受験生が不利になることはありませんか？
- A ありません。
- Q28 スポーツ活動を評価されて合格した場合、入学後もそのスポーツを続ける義務がありますか？
- A ありません。また、入学後にスポーツ活動を続けるか否かが試験の可否に影響を与えることもありません。なお、当大学にはスポーツ能力向上を支援する恵まれた環境が用意されていますので、入学後もスポーツ活動を続けることは大いに歓迎します。
- Q29 自己推薦入試で入学し、その活動を継続し、大学で活躍した場合、成績評価面で優遇されますか？
- A 特別扱いは一切ありません。
- Q30 他学部や他大学の自己推薦入学試験と併願しても構いませんか？
- A 構いません。
- Q31 この自己推薦入学試験で不合格となった者は、2月の一般入学試験を受験することができますか？
- A できます。自己推薦入学試験の成績・結果は2月の一般入学試験には一切関係ありません。

V.その他

Q32 教育学部に「自己推薦入試」以外の推薦入学試験制度はありますか？

A 教育学部における推薦入学試験は、早稲田大学附属・系属の高校と海外校からの推薦入学を除けば、1991 年度から開始した「自己推薦入学試験」制度のみです。

Q33 入学後の追跡調査は行うのですか？

A この制度をより一層充実させるために学業成績の追跡調査を行っています。

Q34 活動記録報告書の学校長の証明印は学校長の推薦を意味するものですか？

A そうではありません。活動内容や活動記録、研究記録について確認していただくためです。

Q35 入学後に取得できる資格は何ですか？

A 下表をご参照ください。

学科	専攻・専修	取得できる教員免許状	取得できる資格	
教育学科	教育学専攻教育学専修	社会(中学 1 種)・地理歴史(高校 1 種)・ 公民(高校 1 種)・特別支援学校 (1 種)	図書館司書 学校図書館司書教諭 博物館学芸員 社会教育主事 社会福祉主事 認定心理士 (教育学科教育学専攻教育 心理学専修のみ)	
	教育学専攻生涯教育学専修			
	教育学専攻教育心理学専修			
	初等教育学専攻	小学校(1 種)		
国語国文学科		国語(中学 1 種・高校 1 種)		
英語英文学科		英語(中学 1 種・高校 1 種)		
社会科	地理歴史専修	社会(中学 1 種)・地理歴史(高校 1 種)・ 公民(高校 1 種)		
	社会科学専修			
理学科	生物学専修	理科(中学 1 種・高校 1 種)		
	地球科学専修			
数学科		数学(中学 1 種・高校 1 種)・情報(高校 1 種)		
複合文化学科		ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語 (中学 1 種・高校 1 種)		

2016 年度自己推薦入学試験データ

○学科・専攻・専修別 志願者数・第一次合格者数・第二次合格者数

学科・専攻・専修		志願者数	第一次合格者数	第二次合格者数
教育学科	教育学専攻 教育学専修	25	25	13
	教育学専攻 生涯教育学専修	20	16	6
	教育学専攻 教育心理学専修	9	8	3
	初等教育学専攻	13	12	2
国語国文学科		19	18	7
英語英文学科		18	16	5
社会科	地理歴史専修	8	6	1
	社会科学専修	31	30	7
理学科	生物学専修	3	3	1
	地球科学専修	1	0	0
数学科		20	15	3
複合文化学科		28	22	5
合計		195	171	53

○出願資格別 志願者数・合格者数・合格者の主な活動内容

- (1) 志願者数 195 名(学芸系 36 名、スポーツ系 124 名、全校的活動系 35 名)
 (2) 合格者数 53 名(学芸系 8 名、スポーツ系 32 名、全校的活動系 13 名)
 (3) 合格者の主な活動内容

学芸系	短歌全国大会優勝/全国英語ディベート大会 5 位/全国放送コンテスト優勝
スポーツ系	女子サッカー県大会 3 位/ダンスドリル全国大会 2 位/ソフトテニス関東大会準優勝/ バスケットボール国民体育大会優勝/ハンドボール近畿大会出場/ラグビー全国大会優勝
全校的活動系	生徒会会長/生徒会副会長/体育祭実行委員会委員長

【お問い合わせ】

早稲田大学教育学部入試係

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1

E-mail:edu-admission@list.waseda.jp

http://www.waseda.jp/fedu/edu/